

家畜衛生広報いいだ

長野県飯田家畜保健衛生所
飯伊家畜畜産物衛生指導協会
TEL : 0265-53-0439、0440
FAX : 0265-53-0441
E-mail:iidakachiku@pref.nagano.lg.jp
http://www.pref.nagano.lg.jp/iidakachiku/

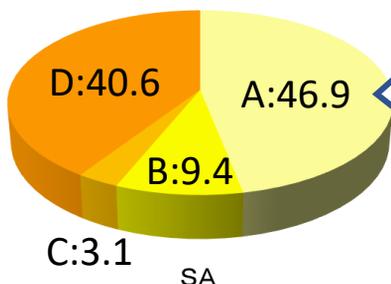
R 4 (2022) 8. 31 発行 2022_No. 6

酪農生産性向上対策事業による 第1回 バルク乳検査の結果についてお知らせします

評価 A : 正常/目標 B : やや多い C : 多い D : 非常に多い
グラフ内の数字は管内検査戸数 (33戸) のうち、A~D評価の戸数の割合 (%)

自分のバルク乳は
どのランクに
入っていますか？

★黄色ブドウ球菌 (SA)

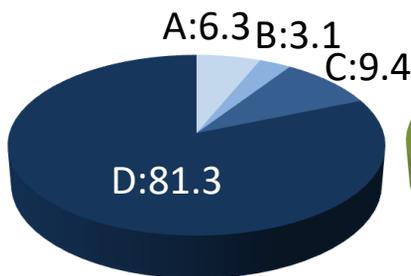


SAが5割以上の農場で検出されました。

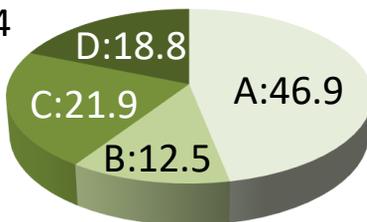
SAは検出されないこと(評価A)が重要です。

SA感染牛の特定など、対応については当所にご相談下さい。

★環境性ブドウ球菌、環境性レンサ球菌



環境性ブドウ球菌

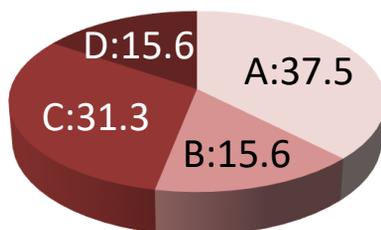


環境性レンサ球菌

これらの菌は、搾乳作業
や飼養環境の衛生状態
の指標となります。

バルク乳の体細胞数が多い場
合にはこれらの菌による乳房
炎牛の存在も疑われます。

★大腸菌群

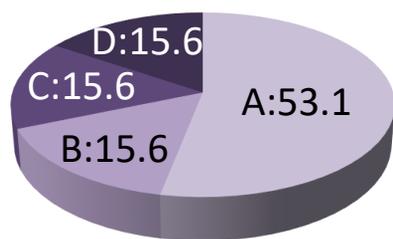


大腸菌群

大腸菌群が多数分離される場合、搾乳中に糞便
などを誤って吸引していたり、搾乳機器の洗
浄殺菌に問題があったりします。

菌数の多い農場は、搾乳手技や搾乳機器の
衛生管理を確認しましょう。

★耐熱性菌



耐熱性菌

耐熱性菌は搾乳機器の洗浄・殺菌状態の良し悪しを反映します。
検出された農場は搾乳機器の洗浄手順を再確認しましょう。

★無乳性レンサ球菌、マイコプラズマ検査及び牛ウイルス性下痢ウイルス検査は、全戸陰性でした。



搾乳手技や搾乳機器の衛生管理を確認しましょう

搾乳衛生は、乳房炎の感染を防ぎ、衛生的な生乳を生産するうえで重要です。日々の搾乳手順を再確認してみましょう。

作業上のポイント

✓ 搾乳手袋は必ず装着

人の手には黄色ブドウ球菌などの菌がたくさんいます。

✓ 前搾りの確実な実施

牛への搾乳開始の合図！

乳頭1本につき、4～5回しっかり行いましょう。

✓ 体細胞数の高い牛、乳房炎牛は最後にまとめて搾る

健康な牛への感染を防ぐために重要です。

家保では、搾乳立会により搾乳手順等を確認し、搾乳体系の改善を支援する取り組みを行っています。立会を希望される場合は、飯田家保（保健衛生課）までご連絡ください。

📞 第2回のバルク乳検査は11月頃実施します。
採材日程は個別にご連絡しますので、よろしくお願いいたします。



しあわせ信州

搾乳衛生・管理等のご相談はお気軽に！
連絡先 飯田家畜保健衛生所 保健衛生課
Tel 0265-53-0440 Fax 0265-53-0441